

報道発表

令和4年12月16日
名古屋税関
中部空港税関支署



令和4年11月分 中部空港 貿易概況（速報）の要旨

令和4年11月分について、輸出は「電気計測機器」、「非金属鉱物製品」などが減少したものの、「自動車の部分品」、「半導体等製造装置」、「半導体等電子部品」などが増加したことから対前年同月比16.8%の増加となった。また、輸入は「医薬品」、「有機化合物」などが減少したものの、「原動機」、「半導体等電子部品」、「航空機類」などが増加したことから、同3.4%の増加となった。

その結果、差引額は261億円の輸出超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
中部空港	1,180億円	+16.8%	918億円	+3.4%	261億円	+115.1%
	24カ月連続の増加		19カ月連続の増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車の部分品	50億円	+64.6%	輸入	増加品目	(1) 原動機	164億円	+91.6%
		(2) 半導体等製造装置	35億円	+72.6%			(2) 半導体等電子部品	146億円	+46.0%
		(3) 半導体等電子部品	190億円	+8.0%			(3) 航空機類	37億円	+55.4%
	減少品目	(1) 電気計測機器	66億円	▲27.8%		減少品目	(1) 医薬品	82億円	▲41.5%
		(2) 非金属鉱物製品	18億円	▲18.0%			(2) 有機化合物	8億円	▲88.0%
		(3) 自動車用等の電気機器	6億円	▲40.2%			(3) 絶縁電線及び絶縁ケーブル	15億円	▲62.6%
	主要地域 増減	アメリカ、アジアが増加、EUは減少				主要地域 増減	アメリカ、アジアが増加、EUは減少		

（参考）ドルレート・・・146.44円（前年 113.95円）28.5%の円安ドル高

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。